

情報通信系 情報通信コース (博士後期課程)

アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- ・情報通信工学の高度な専門学力とともに問題の多面的な理解に必要な幅広い工学の専門学力、およびそれらに基づく実践的な問題解決力を有する人
- ・情報通信工学の専門分野の知識に新しい知見を加えて、柔軟な発想の下に自在に活用できる人
- ・国際的に活躍できるコミュニケーション基礎力を有する人
- ・情報通信工学の知のフロンティアを自ら率先して開拓する強い意欲を有する人
- ・高い倫理観をもちつつ、国際社会の発展のためにリーダーシップを発揮しようとする志を有する人

アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

学位論文 (またはこれに代わる研究業績) による研究能力に関わる試問、情報通信系の専門に関する学力、英語による語学力などについて、口頭試問などにより、情報通信系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 情報通信分野における高度な専門知識の学修

修士課程までに学んだ専門知識を俯瞰し、博士論文研究で必要となる、より高度な専門知識を学修する。

B) 問題設定能力と高度な問題解決能力の学修

博士論文研究指導を通して、新たな研究課題を設定し、これに挑戦することにより、問題設定能力と高度な問題解決能力について学修する。

C) 幅広く深い学識と倫理観の学修

講究等を通して、情報通信分野における国際的な視野に立った最先端の知見を体系的に修得することにより、幅広く深い学識並びに倫理観についても学修する。

情報通信系 情報通信コース (博士後期課程)

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

D) 独創的な研究・開発能力の学修

研究者として国際会議での研究発表や学術誌での論文発表を行うことにより、国際的なレベルで従来の学術水準に新しい知見を加える能力について学修する。

E) 研究の遂行を管理する能力の学修

講究等での定期的な研究発表に加え、中間審査や達成度審査等を通じて研究の遂行を管理する能力について学修する。

F) 国際的に通用するリーダーシップの学修

国際会議やインターンシップ等を通して、必ずしも専門が一致しない海外の第一線の研究者や技術者と積極的に議論を行い、日本語や英語で高度な討論をする能力について学修するとともに、リーダーとして多様な考えや意見を整理し、集約するための能力について学修する。

G) 国内外の産業界等の動向に関する高度な視野の学修

講義やセミナー等を通して、国内外の情報通信産業の最新動向を学び、産業界等のリーダーに求められる高度な視野や倫理観を身につけるための学修を行う。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

情報通信コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ 情報通信工学における研究・技術開発に必要な高度な専門的学力
- ・ 関連分野の専門学力を自ら修得し、新しい領域の開拓および実践的問題解決に結びつける力
- ・ 社会との関係の中で専門知識を活用して、新たな課題解決と創造的提案を行う力
- ・ 国際的視野をもって研究・開発の潮流を理解し体系化する能力
- ・ 情報通信工学に関する高度に専門的な業務に従事するに必要な能力と学識
- ・ 情報通信工学について、独創的研究によって従来の学術水準に新しい知見を加えるとともに、研究者として自立して研究活動を行う力
- ・ 日本語及び英語によって科学技術情報を論理的に説明・文書化することができ、リーダーとして研究・開発チームを指揮できる能力
- ・ 強い倫理観を持って研究等に携わる姿勢